

JISA 経営セミナー(第 5 回)

「ビジネスと IT が一体で価値づくりを進めるアジャイル開発」開催

平成 29 年 4 月 25 日、東京コンベンションホールにおいて、JISA 経営セミナー(第 5 回)「ビジネスと IT が一体で価値づくりを進めるアジャイル開発」が開催された。出席者は 107 名。講師は平鍋 健児氏(株式会社永和システムマネジメント 代表取締役社長/株式会社チェンジビジョン 代表取締役社長)、山根 隆行氏(KDDI 株式会社 クラウドサービス企画部 マネージャー)。

冒頭、横塚会長は、「我々は顧客と一体となりながら新たなビジネスを創造し、そのためにはアジャイル開発に取り組む必要がある。」と挨拶した。



平鍋氏からは、アジャイル開発の現況と現場で行われていることの説明、また、「Scrum」手法について紹介があった。

システム開発の分野において、刻々と変化するビジネス要求に対応するには、ウォーターフォール開発よりアジャイル開発が適しているとあった。また、アジャイル開発では、最新正確な情報が一箇所で見えるようにしておくことが重要であり、「タスクかんばん」などの取り組みの紹介があった。最後に、「Scrum」について、考え方の発祥は日本からとあり、1980 年代の論文について説明があった。

山根氏は「KDDI におけるアジャイルの取り組み」と「IoT ビジネスに効果的なアジャイル」について話があった。

「KDDI におけるアジャイルの取り組み」では、同社内のシステム開発プロジェクトの多くがアジャイル開発となっており、企画や開発部門といった様々なメンバが一体となって共通のゴールに向かって活動している。世の中が変化していく中で、継続的なリリースが重要とあった。「IoT ビジネスに効果的なアジャイル」では、IoT 市場は不透明な状況もあり、リーンスタートアップアジャイル開発のプロセスにて新たなサービス開発に取り組んだとあった。



講演後は活発な質疑が行われた。また、Scrum Inc、永和システムマネジメント、KDDI の共催で Scrum 認定資格取得セミナーを 6 月 26 日(月)～29 日(木)で開催する予定であり積極的な参加を期待すると結んだ。 (大原)